

事業評価表

令和5年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市市民文化ホール
施設所管課	政策部管理課
指定管理者名	NPO法人四国中央市公共施設管理運営センター
指定期間	令和元年8月23日～令和6年3月31日
	5年目

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	C	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
《①の総括》		B	B	
指定管理者の 自己評価	協定書、業務仕様書に基づき、概ね適切に業務が履行できたと考えている。令和5年度は、当初計画から1名減の7名体制で管理運営を行った。避難訓練や防災訓練については全員参加で定期的実施、9月には館長と事業担当2名が市職員と先進地研修に参加、また中四国公立文化施設協会が主催する実務研修へ1名派遣した。今後も全職員に対し、さまざまな研修が受講できるよう改善を図っていきたい。			
施設所管課の 評価	法令を遵守し、協定書、業務仕様書及び年度事業計画に基づき業務を遂行していた。会館運営の中で、事故等緊急時における迅速な対応や、市への報告が適正に行われている点は評価できる。 会館運営をしながらの研修会等への参加は、勤務体制などの面から難しい面もあるが、引き続き、各種研修に参加し、職員の業務スキルの向上に努めていただきたい。			

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	C	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	C	B
		設定目標に対する取組は適切である。	C	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	新型コロナウイルス感染症が沈静化し、利用者数が昨年比で約3万人増加し、開館以降最高の98,769人の方に利用していただいた。利用者が増加することに伴い、施設予約や日々の諸室点検や修繕等、施設管理の業務も増加したが、普段から丁寧な接遇に心がけることを徹底するなど全体を通して適切に行うことができた。また自主事業・共催事業とも順調に開催することができ、事業ごとに実施しているアンケート調査でも高い評価をいただいた。市外からも多くの方が来館したが、ホームページ等の広報活動を積極的に行い利用者数の増加を図りたい。			
施設所管課の評価	新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月に5類感染症へ移行したことに伴い、令和5年度は感染症対策の制限がない会館運営を行うことができた。開館後最高の利用者数を記録し、訪れた利用者へ丁寧な対応を心掛けた結果、利用者からの満足度も引き続き好評を維持していることは評価できる。 新しい試みを取り入れ、利用者にも何度も足を運んでもらえる会館運営を期待する。			

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	C	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	自主事業においては「日本交響楽振興財団」「宝くじまちの音楽会」「三井住友海上文化財団」の補助を受けたことで経費縮減を図ることができた。予算執行についても適切に経理事務を行っている。		
	施設所管課の評価	予算の執行は、適正になされており、会計事務も適正に処理されている。 また、助成金を積極的に活用し、経費削減に取り組む姿勢は評価する。引き続き、経費削減に努め、安定的な会館運営を行っていただきたい。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見 (成果・課題等)	<p>【自己評価】 新型コロナウイルス感染症が沈静化したことで来館者が増加したが、概ね通常管理運営業務を行うことができた。しかし職員1名減の状況では勤務体制が厳しく、来期は8名に戻し、より充実した管理運営を行いたい。また当法人の組織体制においても世代交代に取り組んでいきたい。自主事業においては市発足20周年、ホール開館5周年を前面にアピールするなど積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>【所管評価】 感染症対策の制限が無い状況下で、通常の会館運営を行ったことで、令和5年度の指標は、今後の会館運営を行う上でも基準となるものになったと思う。 令和6年度は、市発足20周年及び開館5周年の記念となる年にあたり、魅力的なイベントを展開し、地域の文化の拠点施設となっていきたい。</p>			

事業評価表

事業評価表【補足資料】

1.利用状況

項目	5年度計画A	5年度実績B	対比B-A、B/A	前年実績C	対比B-C、B/C	備考
開館日数	309	312	3	308	4	
施設利用者数	120,000	98,679	-21,321	68,299	30,380	
施設稼働率	100%	99.7%	-0.3%	99.4%	0.3%	

2.管理目標

活動指標	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		備考
	目標	実績									
開館記念事業開催件数	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
自主事業開催件数	7	5	19	15	20	9	20	18	20	20	

成果指標	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		備考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
施設利用者数	70,000	63,313	120,000	37,983	120,000	39,276	120,000	68,299	120,000	98,769	新型コロナの影響(目標値に対する達成率) R2:31.7% R3:32.7% R4:56.9%
施設利用者の満足度	70%	97%	70%	88%	70%	98%	70%	100%	70%	93%	

3.収支状況

区分	元年度決算	2年度決算	3年度決算	4年度決算	5年度決算	備考
収入計	121,478,394	117,873,969	119,466,385	142,995,863	148,517,074	
指定管理料	63,100,000	107,906,000	104,016,000	113,000,000	121,204,000	
利用料収入	6,411,318	5,413,410	9,021,410	12,897,550	14,309,300	
自主事業収入	1,920,800	3,823,965	5,209,060	15,700,362	11,929,240	
その他	50,046,276	730,594	1,219,915	1,397,951	1,074,534	
支出計	109,121,137	110,793,198	116,966,514	149,284,010	141,926,986	
指定事業費	101,761,671	95,801,049	101,358,240	110,772,458	110,118,825	
人件費	16,963,990	22,486,100	21,407,287	23,995,050	21,993,720	
再委託料	56,923,216	50,962,004	52,845,991	56,453,382	56,281,289	
その他経費	27,874,465	22,352,945	27,104,962	30,324,026	31,843,816	
自主事業費等	7,359,466	14,992,149	15,608,274	38,511,552	31,808,161	
事業収支	12,357,257	7,080,771	2,499,871	-6,288,147	6,590,088	
利用料金比率	5.3%	4.6%	7.6%	9.0%	9.6%	
人件費率	15.5%	20.3%	18.3%	16.1%	15.5%	
再委託費比率	52.2%	46.0%	45.2%	37.8%	39.7%	

※令和元年度 開館準備業務委託料及び開館記念事業実施運営業務委託料を含む

<評価基準>

区分	項目評価	基準
評価基準	A (優良)	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ : 110%以上
	B (良好)	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ : 90%以上~110%未満
	C (一部良好でない)	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ : 70%以上~90%未満
	D (良好でない)	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ : 70%未満
総括	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている
総合評価	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている